

地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会平成27年度第2回会議記録

- 議 題：1 地方独立行政法人市立秋田総合病院平成26年度業務実績、財務諸表等
 についての法人からの説明および質疑
 2 地方独立行政法人市立秋田総合病院平成26年度業務実績、財務諸表等
 についての評価委員会審議
 ア 業務実績について
 イ 財務諸表等について
 3 その他
- 日 時：平成27年7月16日（木）14：00～15：10
- 場 所：秋田市役所2階会議兼応接室
- 出席者：【評価委員】鈴木委員、中澤委員、野口委員、河野委員、佐藤委員
 【病院法人】小松理事長、本間事務局長、糟谷次長、伊東室長、小林課長補佐、
 伊藤室長補佐
 【事務局】辻福祉保健部長、秋山福祉保健部次長、
 佐々木福祉総務課長、眞崎参事、西田主席主査、西崎主査

議 事 開 会

事務局

ただいまから平成27年度第2回「地方独立行政法人市立秋田総合病院
 評価委員会」を開会する。
 本日の会議は、全委員が出席であり、本委員会条例に規定する定足数を
 満たしていることを報告する。
 それでは、会議の進行を鈴木委員長に願う。

委員長

次第に従い議事を進行する。
 本日の議事進行方針を説明する。
 はじめに法人から前回の評価委員会で、質問に対し回答を保留していた
 事項および追加事項について説明してもらい、法人が修正した資料1で業
 務実績の自己評価への質疑を行う。
 その後の評価委員での審議については、自由闊達な意見交換の場とするた
 め、本委員会運営要綱第2条の規定により、非公開とすることが適当であ
 ると考えているがどうか。

各委員

(異議なし)

委員長

異議が無いようなので、議事(2)「地方独立行政法人市立秋田総合病院
 平成26年度業務実績、財務諸表等についての評価委員会審議」は非公開
 とする。

【議事(1)】 地方独立行政法人市立秋田総合病院平成26年度業務実績、財務諸表等
についての法人からの説明および質疑

委員長 前回会議での質問等への対応状況について資料1で法人からの説明を願う。

法人 前回の評価委員会で回答出来なかった事項等について説明する。
連番1、がんの治療成績については、5年生存率などの厳密な意味での治療成績の分析ではなく、部位単位でのがんの発見の経緯など、初期の動向についての分析であり、年度計画に記載しているがん治療成績の向上の評価に直接影響するような分析は行っていない。

また、がん治療について治療成績の向上を年度計画に掲げているが、すぐに結果がでない目標となっているため、28年度以降の年度計画策定の際には、変更を検討したい。

連番3、急性心筋梗塞の救命率については、緊急冠動脈カテーテル治療における救命率が26年度90.5%、25年度89.9%となっている。

連番5、精神疾患への対応については、資料のとおり、業務実績を修正している。精神科身体合併症入院は前回35件と報告していたが、65件に訂正する。同様に前年度79件は67件に訂正する。未報告であった統合失調症入院件数は、26年度86件、25年度87件、気分障害入院は、26年度82件、25年度76件、神経症圏新患は、26年度157件、25年度161件、児童思春期精神医療新患は、26年度45件、25年度31件となっている。身体合併症入院件数の訂正により、自己評価ⅢをⅣに修正している。

同様に連番8、連番17についても修正している。

連番31、地域の医療機関等との連携強化については、紹介率、逆紹介率として診療管理指標としての数値を記載していたが中期計画の中で地域医療支援病院として承認されることを目指すとあり、地域医療支援病院用の紹介率、逆紹介率に変更した。

連番34、専門医等の育成については、人材の育成について業務実績を追記した。

連番46、法令・行動規範の遵守については、年度計画に記載の全職員を対象にしたコンプライアンス研修を実施できなかったため、自己評価をⅣからⅢに修正している。

以上で説明を終了する。

委員長 連番31の地域医療支援病院紹介率について説明してほしい。

法人 地域医療支援病院紹介率は、初診患者から救急搬送患者と時間外の初診患者を引いた数に対する紹介状患者の割合ということになる。

委員長	それでは各委員から質問を願う。
委員	連番9、検診体制の充実について、年度計画では評価指標の設定はなく、人間ドックの充実という記載があったが、一日ドック、二日ドック、特定検診については前年度より減少しているにもかかわらず、自己評価では計画どおりとなっているがどうか。
法人	人間ドックの件数については、例年、1日ドックが1,100件程度、2日ドックが360件程度で推移している。受診者の需要によって件数に増減があるため、年間件数についての具体的な目標は設定していない。自己評価については、ドックの件数は減少しているが、検診システム導入による利便性の向上や新たな検診項目実施などを総合的に評価し、年度計画どおり達成できたと自己評価している。
委員長	1日ドック、2日ドックは、個人と企業ではどちらが多いか。
法人	圧倒的に企業が多い。
委員	連番9の自己評価の理由については、件数は減少しているが、別の部分の質を重視してこの評価になったという記載にしてほしい。 また、連番6、救急医療の提供について、目標指標の数値として救急搬送患者受入件数があるが、救急患者の受入件数は、病院としてコントロールできるものか。
法人	救急搬送数については、病院としてはコントロールできない。
委員	業務実績に44件受け入れに至らなかったとあるが、これを目標数値とすることはできるか。
法人	救急室の処置ベッドが満床であったことが受け入れに至らなかった理由であるため、これを目標指標とすることは難しい。
委員	連番21、接遇に関する研修の実施について、部門別研修は27年度以降進める予定となっている。26年度は部門別研修が必要ないと判断したのか。
法人	26年度から接遇研修を始めたばかりでどのような研修が必要か分からないことから部門別研修は行えなかったというのが実態である。
委員	連番34について、資格を取得した件数は把握してるか。
法人	26年度で把握している新規の取得は2件であるが、ほかに個人的に取

得している可能性もある。

委員 この2件は資格を取得したということによいか。

法人 そのとおりである。

委員 連番20、の満足度調査について、「満足」、「やや満足」のほかの選択肢はどうなっているか。

法人 「あまり満足していない」、「満足していない」となっている。

委員 個人的には、患者から不満足だということを聞いたことはなく、満足度は調査結果よりも高いように思う。

委員 不満足と書いた理由を把握しているか。

法人 理由を記載する欄があり、把握している。

法人 改善要望については、関係部門に送付し、改善が必要なものは改善を促している。また、改善結果は院内患者サービス向上委員会で報告している。

委員 年度計画の評価指標として、できるだけ目標数値を設定してほしい。

委員長 経験により数値を設定できる項目、できない項目が把握できるようになると思うので、今後は目標数値の設定について検討してほしい。

委員長 最後に、評価全体、また、前回法人から説明があった財務諸表も含めて質問等を願う。

委員 財務諸表について、注記事項にある、金融商品の時価等に関する事項で、貸借対照表の固定資産にある長期性預金、流動資産にある有価証券が記載されていない理由は何か。

法人 金融商品の時価等に関する事項については、重要性の原則に基づいて記載の有無を判断している。長期性預金、有価証券は重要性が低いと判断し、記載していない。

委員 そのような考え方もあると思うが、リース債務については、金額が低いのが記載している理由は何か。

法人 リース債務については、期間が長いことを考慮して記載しているもので

	ある。
委員長	ほかにあるか。 無いようなので以上で質疑を終了する。 (病院法人関係者退室)
<hr/>	
【議事(2)】	地方独立行政法人市立秋田総合病院平成26年度業務実績、財務諸表等 についての評価委員会審議
ア	業務実績について ※非公開
イ	財務諸表等について ※非公開
<hr/>	
【議事(3)】	その他
委員長	それでは、議事(3)「その他」について、次回会議は評価委員での審議となる。自由闊達な意見交換の場とするため、本委員会運営要綱第2条の規定により、次回委員会での審議については非公開とすることが適切であると考えているかどうか。
各委員	(異議なし)
委員長	異議が無いようなので、第3回地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会は非公開とする。
事務局	次回の委員会は、8月12日(水)午後2時から、この会場で開催する。 次回は、本日審議した51の項目別評価を確認し、大項目評価および全体評価の事務局案を提示したうえで審議を行う。 今回の会議録は、まとめ次第、電子メールで送付するので、確認を願いたい。
<hr/>	
閉 会	
事務局	平成27年度第2回地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会を終了する。